

宮嶋

山

山

山

編

大

十二月一

大

公館に於て中土の多岐に亘る

全行の所長に在りて

常任の所長に在りて

多岐に亘る所長に在りて

海軍大臣に在りて

二十

0055

三ノ宮 名義を以てしるす

十一月一日

0056

主内第百りろろ

當局調度倉庫兩課長被仰付度
上申

會計局庶務課長

主船局調度課長
海軍主計監森尾履素

主船局倉庫課長
海軍主計栗原實

右主船局諸務連年般示忙におりて調度課
之義欠負又倉庫課之義欠負
課長欠負又倉庫課之義欠負
用所長拜任是六欠負なるを
兩課より實際

秘第三七一號

二十一

海軍主計

0057

差支^此前記^此兩各頭書之通^此仰付度
會計局長^此慢^此誤^此濟^此此^此上^此申^此仕^此也

主船^此司^此副^此長^此

十三年十月日

海軍推大書記官石川利行

海軍部授本武揚殿

0058